

## 120%の準備を

校長 新門 健一

つい先日ローザンヌ国際バレエコンクールで、日本人の菅井円加さん(17歳の高校生)が優勝したというニュースがありました。世界中の15~18歳までのバレエダンサーが対象のコンクールですから、全校朝会でも子どもたちに話しましたが、菅井さんの目標達成へ向けての努力はすごかったと思います。

さて、このコンクールに審査員として「吉田 都」という人が参加していました。この人は29年前のこのコンクールで入賞し、その後世界の三大バレエの一つと言われているイギリスのロイヤルバレエ団でプリンシパル(最高位で主役しか踊らないダンサーのこと)を長年務めていた人です。

バレエはヨーロッパで生まれた身体芸術と言われています。小柄な吉田さんは、若い頃、周りの人からは才能を高く評価してもらいながら、周りのダンサーの肉体を見ていつも劣等感にさいなまれていたそうです。それを救ったのが、「今の自分の精いっぱいをお客さんに見てもらおう」と考えるようになったからだそうです。本番の舞台で100%の力を発揮するために、日々の練習では120%の準備を重ねていく。それを実践していくうちに、観客から注目され、賞賛や喝采を浴びるようなバレリーナになったのだそうです。それだけ自分に厳しい人だけに、踊りにかげりが出る前の絶頂期と言われる時にバレエ団を引退しました。

なかなかこのように生きるのはとても難しいことです。しかし、何かやるときに常に万全の準備を心がけるといのは大切です。児童生徒の前に立ち指導する私たち学校職員は、子どもたちの力を十分に発揮させるためにもこのようにありたいと強く思っています。



寒風の中、椿は元気にきれいな花を咲かせていました。

## 鹿児島県美育協会賞・学校賞受賞

「第27回鹿児島県児童生徒ゆめ立体・彫刻展」において、中学1年の佐藤詩緒里さんが“鹿児島県美育協会賞”を受賞しました。また、多くの生徒が特選や入選を果たし、学校全体としても“学校賞”をいただきました。

写真のような賞状及び副賞が届き、学校にて授賞式を行い、皆で祝いました。詩緒里さんは、九月踊り(おもいたち)の様子を粘土で豊かに表現しました。他の生徒たちも、八潮踊り・メンドン・ジャンベなど硫黄島ならではの題材で表現した作品で受賞していました。

この快挙に引き続き、今後も多くの子どもたちが様々な場で能力が発揮されることを期待します。



硫黄島を題材とした作品を制作し、みんなの力でとった“学校賞”の受賞を喜ぶ生徒たち

## 立志式

7日(火)に、立志式を実施しました。今年度は、秋田直虎君、池田靖嵩君、平田竜暉君、樋渡初菜さんの4人が立志を迎えました。

当日は、保護者の方々や地区の方々に多数出席していただき、お祝いや激励の言葉をいただきました。秋田直虎君は、立志式を迎えるに当たって「言ったことは実行する」など四つの目標をたてたことについて発表しました。池田靖嵩君は、「ここに来て本当に自分自身が変わった。これからも、自分の良いところを増やしていきたい。」と、これからの決意を発表しました。平田竜暉君は、「時間を有効に使うことが上手な両親を見習って、時間を有効に使えるようになりたい。」という将来の希望について発表しました。樋渡初菜さんは「少女漫画家になる夢を達成するために、あきらめない気持ちを持つことなど三つの目標を立てた。」ということについて、発表しました。

立志式後は、冒険ランドいおうじま所長の下猶憲治先生を講師に迎え、「KEEP SMILE~今を大切に・・・~」という演題にて記念講演を実施しました。

下猶先生は、「手助けしてもらった人の一人一人を大切にする」「今日から二十才までの間に何か打ち込めるものをもつ」「自分で決めたことは、自分で責任をとる」「うまくいかないことは、自分で取り戻す方法を見つける」など、これからの人生に大切なことについて、具体的な事例を示しながら説明して下さいました。また、これまでの御自身の経験をもとに人生を生き抜く知恵について講演して下さいました。

4人にとって、今後の自分の進路や将来の夢について深く考える貴重な機会となりました。ご講演下さいました下猶先生をはじめ、ご多用中御出席いただきました保護者や地域の皆様方、本当にありがとうございました。



## 体力づくり

14日(火)の朝の活動は、全校体育でした。全校児童生徒そろって校庭で「縄跳び」運動をしました。子どもたちは、普段の体育の時間などでも縄跳びに取り組んでいます。縄跳びなどの運動が好きで、どんどん上達している子もいるようです。

まだまだ、時折朝晩冷え込む日がありますが、寒さに負けず元気ががんばってほしいものです。そして、今後も、縄跳びに限らず、積極的に体力づくりに励んでほしいと思います。



## 学校保健委員会開催

3日(金)に、学校保健委員会が開催されました。本年度の反省や“アウトメディア”に関する啓発DVDの視聴があり、これまでの取組についての振り返りとして、有意義な会となりました。各家庭からは、アウトメディアに関する『一家庭一家訓』についての実施状況の発表などもあり、今後の取組についての良い情報交換の場となりました。

DVDの視聴を通して、アウトメディアと豊かな情操の関連について改めて感じることでした。

